



## 青葉学園支援連携

# ファミリーホームくらちゃんハウス開設

「施設養護」から「家庭的養護」「家庭養護」へ、という国の方を受け、中日青葉学園あおば館は、今年十月、「家庭的養護」の第一弾として、一つの女子ホーム（十六人）を二分割・小規模グループケア（八人・二グループ）を始めます。さらに施設は「子ども六人を一軒の家で育てるファミリーホーム」への支援、連携長が四月、東海市に開設したファミリーホーム「くらちゃんハウス」を支援するとともに連携をしていきます。

ファミリーホームは小規模住居型児童養育事業として位置づけられ、形態は児童養護施設が運営する「地域小規模児童養護施設」と同じだが、施設ではなく個人が運営することで、里親とともに「家庭養護」とされています。倉橋さんは、福祉を学び平成十二年、青葉学園に入つて以来、児童指導員主任、係長と十三年にわたり指導現場で中心的役割を果たしてきました。学園で働く中で「施設養護の良さもあるが、子どもたちを少ない人数で、家庭のように育てたい」との気持ちが強くなり、ファミリーホームの制度を知りました。



「くらちゃんハウス」とは、倉橋夫婦のおうちで、倉橋夫婦と一緒に住みながら、みんなの今の生活、明るい未来を考えていく、そんな場所です。ある子にとっては、自立のための勉強の場であつたおうちの代わりです」とその趣旨をうたい、自己紹介、家の様子、生活ルール、周辺情報、Q&Aをまとめました。



「くらちゃんハウスは、これまでの職場では、自分が職場に強していく」と新しくなり、新鮮で仕事が回っていました。子どもたちのための勉強で、さらに勉強していく

## 全社協・全国児童養護施設協議会

## 倫理綱領

- 1 私たちは、子どもの利益を最優先した養育をおこないます
- 2 私たちは、子どもの理解と受容、信頼関係を大切にします
- 3 私たちは、子どもの自己決定と主体性の尊重につとめます
- 4 私たちは、子どもと家族との関係を大切にした支援をおこないません
- 5 私たちは、子どものプライバシーの尊重と秘密を保持します
- 6 私たちは、子どもへの差別・虐待を許さず、権利侵害の防止につとめます
- 7 私たちは、最良の養育実践を行るために専門性の向上をはかります
- 8 私たちは、関係機関や地域と連携し、子どもを育みます
- 9 私たちは、地域福祉への積極的な参加と協働につとめます
- 10 私たちは、常に施設環境および運営の改善向上につとめます

2010年5月17日 制定

# 青葉通信

## 第14号

発行  
社会福祉法人  
中日新聞社会事業団  
中日青葉学園

## 中日青葉学園 理念

## 「和」

人の輪を広げ、豊かな心を育て、未来に向けて子どもと共に歩み、地域福祉の向上に貢献します。

## 方針

- 1 家庭的なホーム生活を通じ、子どもたちの情緒の安定を図り、安全で安心できる生活を提供します。
- 2 スポーツ・文化活動を通じ、仲間との連帯感、心身の健康、豊かな心、忍耐力を育みます。
- 3 子どもたちの言葉に耳を傾け、社会的な責任と自分たちの権利、義務について共に考え、自立を支援します。
- 4 地域との交流を深め、地域の子育て支援・ボランティア支援の役割を担い、地域に開かれた参加型の施設を目指します。
- 5 外部の専門機関との連携を深め、子どもたちにとって、より良い支援を行います。
- 6 「子どもの最善の利益を念頭に、職員の教育・研修を行い、自己研鑽に努めます。

「自分は家庭養護にあたり、家庭養護と施設養護それぞれの良さをお互いに活用できる社会的養護の実践を青葉学園としたい」と

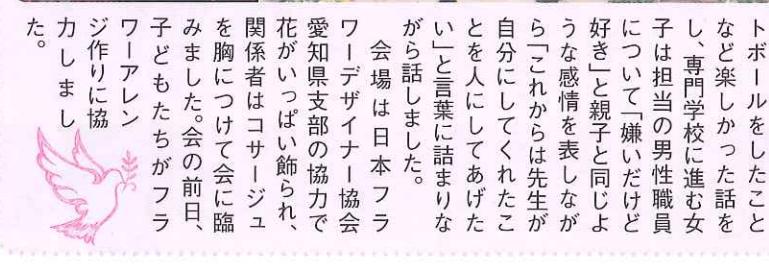
思い、三年ほど前から準備を進めていました。同じ職場で同じ志を持つ安藤

（旧姓）美菜子さんと結婚、東海市で家を購入、「くらちゃんハウス」をオーブンしました。「くらちゃんハウス」は同市富木島町、住宅街の一角、三階建て、5LDKを7戸DKに改造。一人部屋を四部屋、二人部屋を一部屋で子ども六人と暮らします。浴室、シャワールームを各一ヵ所、トイレ、洗面所を各二ヵ所、二階にも子どもたちが集まれるリビングを配置しました。

「くらちゃんハウス」とは、倉橋夫婦のうちで、倉橋夫婦と一緒に住みながら、みんなの今の生活、明るい未来を考えていく、そんな場所です。ある子にとっては、自立のための勉強の場であつたおうちの代わりです」とその趣旨をうたい、自己紹介、家の様子、生活ルール、周辺情報、Q&Aをまとめました。

四月開設とともに、まず男子中学生一人が入居。今後、児童相談センターと話し合を発表しました。就職する男子は、ソフ

トボールをしたことなど楽しかった話をし、専門学校に進む女性は担当の男性職員について「嫌いだけど好き」と親子と同じような感情を表しながら話しました。会の前日、子どもたちがフラワーデザイナー協会愛知県支部の協力で花がいっぱい飾られた会場は日本フラワー・アレンジ作りに協力しました。





人気漫画のキャラクター「タイガーマスク」伊達直人が一月十一日、学園を訪問、お菓子、絵本、十万円を寄付しました。今年で三回目です。東郷町に住む男性で、パンダとバタフライのマスクを被った男女三人が、あおば館園内保育の幼児さんにプレゼントを渡しました。

「君たちは日本の宝。微力ですが、支援の輪が広がるよう期待しています」とのメッセージも預かりました。



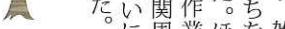
タイガーマスクが  
やつてきた

第十六回 青葉まつりは好天に恵まれた  
十月二十七日、学園の子どもたちのほか卒園生、保護者地域の子どもも集まり、にぎやかに開かれました。ゲームや模擬店フリーマーケットなどを楽しみ、舞台ではパンド、和太鼓演奏も披露されました。愛知県アミューズメント施設業者協会、近藤産興さんなど多くの方から支援いただきましした。



青葉まつり

茂った笹を刈つたり、雑木の枝打ちをしました。ほぼ一日の作業で学園玄関周辺がきれいになりました。



中日森友隊  
学園整備

日本フラワーデザイナー協会  
県支部恒例のクリスマス教室が十一月八日、多目的ホールで開かれました。

子どもたち約三十人が参加、同支部の大脇典子支部長ら本職の手ほどきを受けながら、ワイヤーにユーカリの枝を巻きつけ、金、赤、黄など色とりどりのオーナメントをつけて出来上がり。ホームに入り口や自分の部屋に飾り、クリスマス気分を盛り上げま



クリスマス  
リース教室

汁、アルファ入り、全員で食べ自治会の希望者は学園内を見学、施設への理解を深めてもらいました。

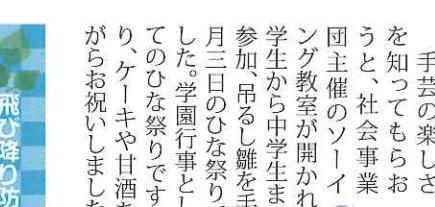
避難した後、消火訓練。今は、水が出る消火器に加え、実際に粉末消火器を使って油火災を消す本番さながらの訓



合同防災訓練

ば、大きな事故になるため、屋上とフェンス上部とでネットを固定。建物とほぼ同色のため、外観を損ねておらず、職員の不安が軽減されました。

わかば館2階ベランダに遊び降りを防ぐネットを張りました。新しく入所した児童の



ひな祭り

リ、下畠加代子、三菱東京JUFJ銀行、  
コカ・コーラ、名古屋グランパルエイバイン、菅沼  
三佐子、名古屋市役所、スズキ、  
シャンメリーア協同組合、新生紙バルブ  
眼寺商店、名古屋市支店、僕の人生第一進店  
い、名糖産業、東ソーラー、ツクシケミー  
ビ、カーブス、水戸辰春、梶原篤  
乎、コムスタッフ、和食、食品グルーパー  
といふと、マスク、カボチャ、「ボレーシヨン」、  
イガーマスク、金、山口健、シヨン、タ  
名古屋食糧、アトリー、エヴァンキシユ  
二、江原啓之、ジヤバ、バンフードエクス  
バード、ヤクルト、愛知信連、置  
名以上物品、招待)

含め三十七人が  
した。子ども職  
され、終息まで二二  
した。ノロウイル  
ませんでしたが  
不手際がありま  
から二月にかけ  
中心にインフル  
二十人出ました。

向けて二十四年四月採用の職員一人の声を紹介しました。



[www.aobagakuen.or.jp](http://www.aobagakuen.or.jp)

学園ホトリヘル

今年十月に始める小規模グルーピングケア要員の二人を含め、今春三人採用しました。この二年間に仲間入りしたのは三人で、現場で働く時間は三分の一が入れ替わったことになります。退職理由はさまざまですが、園園が働きやすい職場にならっているかどうか、問っています。(M)

平成25年度 中日青葉学園予算

あおば館		わかば館	
(単位：円)	(単位：円)	(単位：円)	(単位：円)
収入の部	支出の部	収入の部	支出の部
1.指揮費 2.補助金 3.寄附金 4.積入収 5.利息配当 6.繰入金 7.積立など 8.取扱収入	1.人件費 2.事務費 3.事業費 4.委託料 5.修理費 6.旅費借入金 7.修繕賃借費 8.取扱費	1.指揮費 2.補助金 3.寄附金 4.積入収 5.利息配当 6.繰入金 7.積立預金 8.取扱取入	1.人件費 2.事務費 3.事業費 4.委託料 5.修理費 6.旅費借入金 7.修繕賃借費 8.取扱費用

あおば館が二十五年秋、一ホームを「二つの小規模グループに分割、児童と就学児童を分離することについて児童から「児児と別れるのは嫌などと反対の意見があり、「八人ずつのグループに分け、より家庭に近づけるようにします。少人数のほうが手厚いケアができます」と小規模化の趣旨を説明、理解を求めています。「学園マイクロバスが狭い坂道をスピードを落とさず走っている」と地域の市民から連絡があり、別ルートを走行するようになりました。

意見 · 苗情